

# インドネシアトラジャランテカルア Indonesia Traja Rante Karua



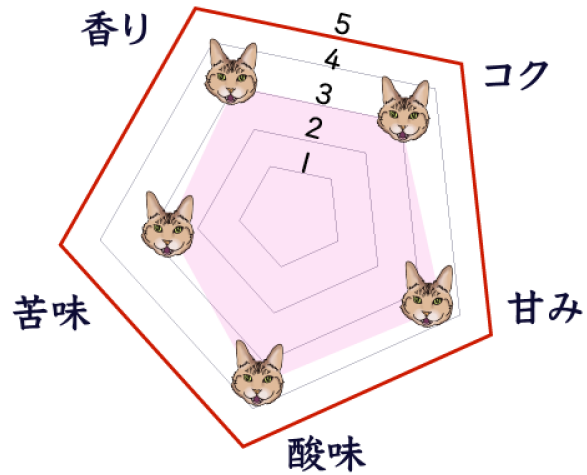
インドネシアのスラウェシ島、標高2300mのランテカルア丘の中腹にあるスロトコ農園から届きました。

スロトコ農園は、海拔1,500~1,800メートル付近の昼30度、夜10度の気温差があり、高品質のコーヒーを栽培する条件が整った1200ヘクタールある広大な農地で栽培を行っています。農園創業者のSulotco Jaya Abadiは1987年に地域に米国農務省の高品質種子と雇用機会を提供し、住民と緊密なパートナーシップを結ぶ事業計画を立て、コーヒー農園を開設しました。初めての収穫は1992年のことでした。

精製にはパルプやミューシレージの層を完全に洗い流すフルウォッシュドを採用し、高地栽培から得られる旨味がたっぷりと詰まった種子そのもののフレーバーだけを楽しめます。

**スロトコ農園コメント：中程度の酸味、黒糖の甘み、シロップ状のボディ、長く続く甘い後味、ムールコット、ドライフルーツ、プラム、黒糖、スパイス、ハーブ**

**焙煎士コメント：独特の苦味とコク、豊かな香りが堪能できる逸品**



At the hillside of Rante Karua, on a vast land of 1,200 hectares, Sulotco Jaya Abadi opened a coffee plantation with a business plan that involved a close partnership with the surrounding inhabitants. By offering quality seeds from a US R&D institution, Sulotco Jaya Abadi offered job opportunities to the dwellers in the surrounding areas to become coffee farmers.

Tasting notes from Sulotoco farm: Medium acidity, brown sugar sweetness, syrupy body, lingering and sweet aftertaste, murcot, dried fruit, plum, brown sugar, spices, herbes.